

#### HITACHI Inspire the Next

#### ポジショントーク



2023/10/31 株式会社日立製作所 研究開発グループ サービスシステムイノベーションセンタ 主管研究長 小川秀人

#### 自己紹介



#### 小川秀人 博士(情報科学)

hideto.ogawa.cp@hitachi.com

株式会社日立製作所 研究開発グループ サービスシステムイノベーションセンタ 主管研究長

情報処理学会 理事 (技術応用) 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会 産学連携促進WG 主査 ソフトウェア工学とダイバーシティWG 幹事

静岡大学 客員教授 JAIST産学連携客員教授/インダストリアルアドバイザ-

AIプロダクト品質保証コンソーシアム 運営副委員長 機械学習品質マネジメント検討委員会 委員

## ソフトウェア工学研究者、技術主幹



ソフトウェアテスティング 形式手法、モデル検査 ソフトウェア開発プロセス ソフトウェア再利用 など









2021年

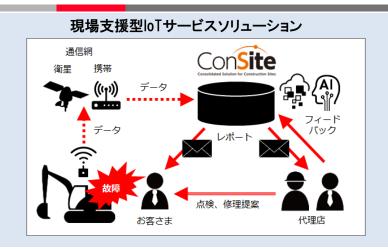
5月25日 ★★★★★ 評価: 4 · 26 件のレビュー · ¥3,080



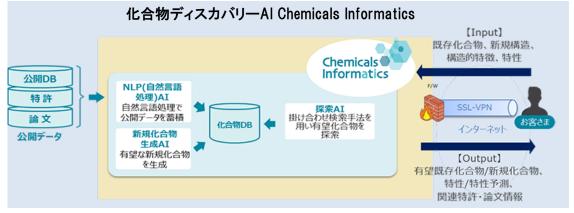
2023年 4月19日

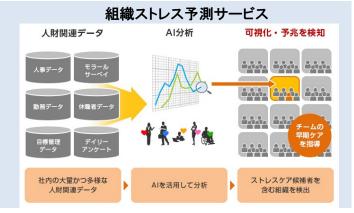
#### 弊社のAI活用事例: 社会イノベーション事業













## AIや機械学習への期待と不安



過剰な期待の裏返しからくる失望 過剰な不安による **人 利 活用の抑制** 

適切な理解に基づく、適正なAI利活用による 社会およびビジネスの発展

#### AIプロダクトの品質保証への考え方



#### リスクはゼロにならない前提の下、品質をマネジメントする

## AI/機械学習を搭載した システム全体のリスク



# 社会が許容可能なリスクの上限

従来のシステムのリスク AI/機械学習により 新たに発生するリスク 従来から許容するリスク AI/機械学習の追加利益により 許容するリスク

テスティング

品質 マネジメント

ガイドライン

標準規格

法制度

安全設計

XAI

契約

保険

倫理

研究開発領域

協調領域(地域間競争領域)

#### Alプロダクト品質保証コンソーシアム



#### AIプロダクト品質保証コンソーシアム(通称:QA4AIコンソーシアム)

2018年4月設立



産官学連携のためのオープンなコンソーシアム (法人格ではありません) 78名の個人(実務家、研究者等)と、3組織で構成 (2023年8月23日時点; 公表分のみ)



2019年5月、日本初のAIプロダクト品質に関するガイドライン発行

 $\rightarrow$  年 1 度のメジャーアップデート (+マイナーアップデート) 、 最新版は2023年6月

CC BY/SA、298ページ ボランティア (参加者の関心・必要性で支えられている)



https://www.qa4ai.jp/

### Alプロダクト品質保証ガイドラインの目次



品質保証 に対する考え方

- 1. 目的とスコープ
- 2. Alプロダクトの品質保証の枠組み

Alプロダクト 品質に関連する 技術紹介

- 3. 技術カタログ
- 4. 機械学習における説明可能性・解釈性

産業ドメイン毎の事例検討

- 5. 生成系システム
- 6. Voice User Interface
- 7. 産業用プロセス
- 8. 自動運転
- 9. Al-OCR

出典: Alプロダクト品質保証ガイドラインを参考に講演者が整理



#### QA4AIガイドラインとAIQMガイドライン





草の根

機械学習品質マネジメントガイドライン (AIQMガイドライン)

Alプロダクト品質保証ガイドライン (QA4Alガイドライン) 日立内標準



技術者参照



※講演者の理解であり、QA4AIおよびAIQMとしての見解ではありません

テスティング

品質 マネジメント

ガイドライン

標準規格

法制度

安全設計

XAI

契約

保険

倫理

研究開発領域

協調領域(地域間競争領域)

